

平成 29 年 12 月 4 日
秋 田 大 学

「秋田県における食道腺がんの有意な増加と全国的な増加傾向を危惧」とする研究結果を発表

～秋田県がん診療連携拠点病院計 11 施設における患者解析より～

秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学・神経内科学講座の飯島克則教授、小泉重仁助教、地域がん医療学講座の本山悟教授らの研究グループは、秋田県内のがん診療連携拠点病院計 11 施設における全食道がん患者について調査を行い、その中で、元来日本ではほとんど認められなかった食道腺がんが増加し始めたことを報告しました。

今回、秋田県における食道腺がんの増加が初めて確認されたことで、全国的に食道腺がんが増加することが予想され、今後の疾病対策にも貢献し得る重要な報告です。本研究結果は Journal of Gastroenterology 誌に掲載されました。

【ポイント】

- ・食道がんは、世界的には大きく 2 つのタイプ(扁平上皮がん、腺がん)があり、その中でわが国の食道がんの 9 割以上は扁平上皮がんです。食道扁平上皮がんの原因として喫煙、飲酒が考えられています。
- ・全国の中でも食道がん患者数が多い秋田県において、これまでその圧倒的大多数は、食道扁平上皮がんでした。
- ・欧米では、近年食道腺がん罹患率が増加し、食道扁平上皮がんを上回るようになりました。
- ・日本でも食生活の欧米化や肥満患者数増加、ヘリコバクター・ピロリ菌感染率の低下に伴い、胃酸の食道内逆流に関連する疾患が増加しており、それに伴う食道腺がんの今後の罹患率上昇が懸念されていますが、これまで明らかな食道腺がんの増加は確認されていませんでした。
- ・今回、秋田県における食道腺がんの増加が初めて確認されたことで、全国的にも食道腺がんが増加することが予想されます。

※詳しくは別紙（裏面）をご覧ください。

【お問い合わせ先】

秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学・神経内科学講座
教授 飯島 克則
TEL:018-884-6104 (医局)
Mail:kijijima@med.akita-u.ac.jp

【研究内容】

秋田県は他県と比較し食道がん患者数が多く、2012年の国立がん研究センターがん対策情報センターによる食道がんの75歳未満年齢調整死亡率は人口10万人あたり4.67人(全国平均3.56人)で全国第1位でした。

今回、秋田大学医学部附属病院および県内の主要な10病院からなる秋田県がん診療連携拠点病院計11施設において、2007年から2014年までの過去8年間に登録された全食道がん患者およびそのうちの食道腺がん患者に関する調査を行いました。秋田県では食道がん診療を行う病院が限られており、県内のがん診療連携拠点病院での食道がん登録症例数は、県全体の食道がん患者の約9割を網羅しています。

登録症例数は食道がん全体で2527症例(男女比2215:312)、平均年齢70.2歳で、そのうち食道腺がんは43症例(男女比39:4)、平均年齢67.7歳でした。

各年度別の食道腺がん症例数および全食道がんに占める割合は、2007年1症例(1/207, 0.48%)、2008年2症例(2/244, 0.82%)、2009年2症例(2/313, 0.64%)、2010年2症例(2/295, 0.68%)、2011年6症例(6/367, 1.63%)、2012年9症例(9/341, 2.64%)、2013年7症例(7/361, 1.94%)、2014年14症例(14/399, 3.51%)でした。よって、秋田県では、元来ほとんどみられなかった食道腺がんが直近の数年間で散見されるようになり、全食道がんに占める割合が8年間の間に有意に増加していることが確認されました。また、発見時のがんの病期を比較すると、食道扁平上皮がんと比較して、食道腺がんではより病期の進行した患者が多くみつかっており、これは、食道扁平上皮がんと比較し、食道腺がんでは内視鏡診断システムがまだ十分に確立されていないことやバリウム検診で発見しづらい等、早期がんの段階での発見が難しいことが原因として考えられ、食道腺がん診断の課題も示されました。

食道腺がんは、欧米では1960-1970年代に増加し始め、現在は、全食道がんの50%以上を占めています。今回、秋田県のデータで、実際に食道腺がんが増え始めていることが日本で初めて示されました。今回確認された食道腺がんの増加は全食道がんの3.5%とまだ少数ですが、生活様式、食生活の欧米化に伴い、本邦においても食道腺がんが急速に増加する可能性があり、今後、食道腺がんの動向を注視する必要があります。食道腺がんは、従来からの食道扁平上皮がんに比べ、原因、診断、治療が大きく異なっており、今後、新たな食道がん対策の確立が望まれます。

【論文題目】

Is the incidence of esophageal adenocarcinoma increasing in Japan? Trends from the data of a hospital-based registration system in Akita Prefecture, Japan.

(邦訳)「秋田県がん登録に見る、食道腺がんの動向」